

1. 件 名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構との審査の進め方に関する面談

2. 日 時：令和2年8月4日（火）9：00～9：45

3. 場 所：原子力規制庁 10階南会議室（テレビ会議）

4. 出席者：

原子力規制庁

原子力規制部 研究炉等審査部門

大島安全規制管理官（研究炉等審査担当） 来住補佐、森光係長

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括部

奥田部長 他8名

5. 要 旨：

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「機構」という。）から、機構の有する施設に係る審査の進め方について相談があった。

<資料 - 1 について>

機構から、本面談の経緯と実績について説明があった。

規制庁から、課題を整理して一つずつ進めて行くことが重要だと考えており、本面談については今後とも継続したい旨伝えた。

これらについて、機構からは了解した旨回答があった。

<資料 - 2 について>

機構から、大洗研究所の施設に係る審査対応状況及び準備状況について説明があった。

これに対し、規制庁から次の指摘をした。

- ・審査会合でより適切な議論を行いうため、規制庁はヒアリングで早めに論点を提示し、機構は質問を持ち帰らず会合の場で回答できるようにする等、双方とも一層の努力が必要である。
- ・申請内容(工事を伴うものは運転再開時期への影響大 など)を踏まえ、優先順位を担当審査官とよく相談いただきたい。
- ・常陽の審査については、会合再開に向けた準備をしているところ。再開に当たっては、過去の議論も含め論点を整理してから審査を進める方が、効率的だと考えている。
- ・廃棄物管理施設に関しては、中長期的な対応が必要だと考えている。

これらについて、機構からは了解した旨回答があった。

6. 事業者配布資料：

- ・資料 - 1 審査の進め方に関する面談（これまでの経緯）
- ・資料 - 2 大洗研究所における許認可審査対応状況について